

全国商工会議所女性会
第12回起業家大賞(平成25年度) 奨励賞を受賞しました!

社会福祉法人ゆずり葉
ゆめランチ 理事長 梶川 ゆりこ



◆事業概要:障害福祉サービス事業
(障害を受けている方の就労を支援する
就労継続支援事業B型の設置経営)

◆所在地:佐賀県武雄市

◆受付女性会:武雄受賞理由

- ・ 障害を持つ方の安定した生活の実現に向けて、弁当の製造販売・配達とリサイクル事業という異なる性質の事業を展開し、障害度合に応じた個別のきめ細かな就労支援を実施していること。
- ・ 高齢者配食の健康志向の弁当で、佐賀県健康づくり協力店に選ばれる他、配食時の安否確認等で高齢者福祉に貢献していること。

◆応募内容(概略)◆

「ゆめランチ」を創業した当時の平成 20 年は、まだまだ障害のある方の働く場は少なく、就職しても定着せず、生活が困窮したり不安定な精神状態が続いたり、豊かな日本社会の中にあっても自立にはほど遠い状態の方もあり、本人も親も行き先不安を抱えておられる状況でした。そこで、障害があることで困っておられる方々が、まずは働く事によって自信を持ち目標を見出して欲しいと願い、障害福祉サービス事業として弁当店の「ゆめランチ」を開始しました。

弁当製造は、材料の調達から仕込み、調理、盛り付け、配達、営業、食器洗浄や清掃など仕事の行程や仕事量も豊富です。そして食に関する仕事の重要性は誰もが認めており、「安全なお弁当を作らなければならない」という意識もおのずと高くなります。力をあわせて働かなければお弁当が完成しないのですから、お互いを必要とし必要とされながらチームワークも育っていきました。一日を忙しく働いた事とそれが売り上げに結びつくことで毎日充実感が得られます。さらに、食事を作ることは自活の基礎であることから、就労支援に弁当製造を選んだのは本当に良かったと思います。これから障害福祉サービス事業をお考えの方には是非参考にさせていただきたいと思います。

私どもが行っている就労支援が、同じ福祉事業でも高齢者施設や介護事業と違うと

ころは、起業して障害のある方々に基準以上の工賃を支払うことにあります。誰もが働く事で充実感が得られ、労働報酬の喜びを得て生きがいに繋がっていきと考えます。安定して工賃を支払うために私たちは働いていると言っても過言ではありません。おかげ様でお弁当の業績も伸び、武雄市の委託事業である一人暮らし高齢者宅への夕食のお届けから近隣の企業などへ昼食の配達、またテイクアウトでは日替わり弁当の他5種類の手作り感が味わえる弁当と昔ながらの惣菜を販売し、コンビニへは弁当の他におにぎりセットやおでんを納品するなど、他社と差別化をはかりながら安心して食べられるお弁当作りを続けてまいりました。特に一人暮らし高齢者の配達は安否確認を含めたものであり、今まで怪我や病気で倒れておられるのを発見して救急車を呼んだり、ボヤを発見して消火を手伝ったりしました。高齢者の皆様へは、栄養士がたてた献立を柔らかく調理をし、また刻み食にするなど配慮し、糖尿病の方にはカロリーを制限するなどしております。「今日も美味しいお弁当をありがとう」と手紙がくることもあり、高齢者福祉を障害福祉で携わる事が出来て良かったとみんなで嬉しくまた誇らしく思っているところです。

現在は、お弁当店の他に2つの事業所を運営し42名の方が働いておられます。ひとつは無公害のライン材と陶器を製造しており、あとひとつは重い障害をお持ちの方々のための作業所です。知的障害だけでも障害の程度や特性も様々ですので、個別支援計画を作り一人ひとりに合わせた支援や指導を行っているところです。

今後は、一人暮らし高齢者を含めて「買い物弱者」の皆様に必要な物品をお届けするサービスを新たに展開し、みんなで力をあわせて仕事をしたいと思っています。明るい笑顔で働いたら、御家族もどんなに安心でしょう。少しでも社会貢献出来るように努力を重ねていきたいと思っています。

